

# 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事実施設計図

番号	意匠設計図面
A-00	図面リスト
A-01	改修工事特記仕様書 1
A-02	改修工事特記仕様書 2
A-03	改修工事特記仕様書 3
A-04	改修工事特記仕様書 4
A-05	改修工事特記仕様書 5
A-06	改修工事特記仕様書 6
A-07	改修工事特記仕様書 7
A-08	改修工事特記仕様書 8
A-09	附近見取図
A-10	敷地求積図
A-11	建物求積図
A-12	仮設計画図
A-13	外部・内部仕上表
A-14	【既存・撤去】平面図
A-15	【既存・撤去】屋根伏図
A-16	【既存・撤去】立面図
A-17	【既存・撤去】断面図
A-18	【改修・増築】平面図
A-19	【改修・増築】屋根伏図
A-20	【改修・増築】立面図

番号	意匠設計図面
A-21	【改修・増築】断面図
A-22	【既存・撤去】平面詳細図・断面詳細図
A-23	【改修・増築】平面詳細図
A-24	【改修・増築】断面詳細図
A-25	【既存・撤去／改修】展開図
A-26	【改修・増築】展開図
A-27	【改修・増築】天井伏図
A-28	【既存・撤去／改修】建具表
A-29	建具詳細図 1
A-30	建具詳細図 2
A-31	建具詳細図 3

番号	構造設計図面
S-01	構造特記仕様書
S-02	配筋標準図 (1)
S-03	配筋標準図 (2)
S-04	鉄骨標準図 (1)
S-05	鉄骨標準図 (2)
S-06	ベ-スハ-ック柱脚工法設計・施工標準図
S-07	土質柱状図
S-08	伏図 (1)
S-09	伏図 (2)
S-10	軸組図 (1)
S-11	軸組図 (2)
S-12	基礎リスト
S-13	RC部材リスト
S-14	鉄骨部材リスト
S-15	鉄骨架構図

番号	電気設備図面
E-01	電気設備特記仕様書 1
E-02	電気設備特記仕様書 2
E-03	凡例・照明器具姿図
E-04	分電盤 結線図
E-05	幹線設備 平面図
E-06	動力設備 平面図
E-07	電灯設備 平面図
E-08	コンセント設備 平面図
E-09	自動火災報知設備 凡例・幹線系統図
E-10	自動火災報知設備 平面図

番号	機械設備図面
M-01	機械設備特記仕様書 1
M-02	機械設備特記仕様書 2
M-03	空調・換気設備・給水設備 平面図









章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
6	11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.8)	単層フローリング (表6.11.1)~(表6.11.2) 種別 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 ○フローリング ※なら ※15 ※あり ○釘留め工法 ボード ○ ○ ○なし ○接着工法 ○フローリング ※なら ※15 ○モルタル埋込工法 ○防水処理足金物付 ブロック ○ ○ ○接着工法 ○モザイク ○ ○ ○接着工法 パーケット ○ ○ ○ 複層フローリング (種別 ○1種 ○2種 ○3種) 種別 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 ○1×6タイプ ○釘留め工法 ○フローリング ※なら ※15 ※あり ○A種 ○B種 ボードタイプ ○ ○ ○なし ※C種 ○ ○接着工法 ※下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ○ 仕上げ塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種 ○オイルステインの上ワックス塗り ○生地のままワックス塗り フローリング材のホルムアルデヒドの放散量 JIS又はJASで定める ※F☆☆☆☆ ○F☆☆☆☆ ○ 非ホルムアルデヒド系接着剤の使用 ※使用する ○使用しない ホルムアルデヒドを放散しない塗料等の使用 ※使用する ○使用しない	15 天井廻り縁 材質 ○アルミニウム製 ○塩化ビニル製 既製目地材 ○適用する (形状 _____) 床の目地 ○設ける (工法 ※改修標準6.15.6(b)(3)による ○ _____) 16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6) 17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.5) 伸縮調整目地等 外壁及び床面 ※図示による ○ 屋内壁面 ※図示による ○ 施工後の確認及試験 浮きの確認 ※全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※接着力試験機による接着力試験を行う ○行わない	⑤ 塗装工程 (7.4.2) ~ (7.14.2) 7 塗装改修工事	工程の種類 (表7.4.1)~(表7.14.1) 記号 名称 種別 SOP 合成樹脂塗合 ベイト塗り 木部 新規外部 ※A種 ○B種 ○C種 新規内部 ○A種 ※B種 ○C種 塗替え ○A種 ※B種 (外部の場合)工程2. 工程4は行わない) ○C種 鉄鋼面 ○A種 ※B種 ○C種 垂鉛めっき面 鋼製建具 ※A種 ○B種 ○C種 塗替え ○A種 ※B種 ○C種 その他塗替え ○A種 ※B種 ○C種 CL 珪酸樹脂系塗料 ○A種 ※B種 FE 珪酸樹脂系塗料 木部 表7.6.1 鉄鋼面及び垂鉛めっき鋼面 表7.6.2 NAD 珪酸樹脂系 ○A種 ※B種 DPA 非水分散型塗料塗り ○A種 ※B種 DP 耐水性塗料塗り 鉄鋼面 ○A種 ○B種 ○C種 垂鉛めっき鋼面 ○A種 ○B種 ○C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ○A-1種 ○B-1種 ○C-1種 ○A-2種 ○B-2種 ○C-2種 EP-G つや有合成樹脂 エポキシベイト塗り コンクリート面、ガラス面、木部 ※A種 ※B種 ○C種 モルタル面、せつこうボード面、しみ止め ○ ※しみ止めシーラー (B種及びC種の場合) 木部 新規 ※A種 ○B種 ○C種 塗替え ○A種 ※B種 ○C種 鉄鋼面 ○A種 ※B種 ○C種 垂鉛めっき鋼面 ○A種 ※B種 ○C種 EP 合成樹脂 エポキシベイト塗り ○A種 ※B種 ○C種 しみ止め ○ ※しみ止めシーラー (B種及びC種の場合) EPT 合成樹脂エポキシ樹脂塗料塗り ○A種 ※B種 ○C種 UC 珪酸樹脂系塗料 ○A種 ※B種 OS 珪酸樹脂系塗料 表7.13.1 WP 木材保護塗料塗り ○A種 ※B種 (表7.15.1) 仕上塗りの種別 ○A種 ※つや有合成樹脂エマルションベイト ○B種 ○ 保証年限 ※7年(鉄面を除く)、3年(鉄面) ○年 ※請負業者と塗装施工業者又は事業協同組合の連名による保証書を提出すること。	1 1コンクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) レディーミクストコンクリートの類別 ※I類 ○II類 設計基準強度(Fc) ○普通コンクリート 打設部位 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ(cm) 備考 構造体 基礎 ※21 ○ ※15 ○18 上部 ※21 ○ ○15 ※18 ○軽量コンクリート 打設部位 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ(cm) 備考 構造体 基礎 ※21 ○ ※15 ○18 上部 ※21 ○ ○15 ※18 ※構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 [Fc+構造体強度補正值(S)] N/mm <sup>2</sup> (標準6.14.11によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) 2 普通コンクリートの材料 (8.2.5) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○高炉セメントのB種(施工箇所 _____) ○シリカセメント ○フライアッシュセメントのB種(施工箇所 _____) 骨材 粗骨材 ※砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化したスラグ ○再生骨材H 細骨材 ※砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化したスラグ ○鋼スラグ ○珪石スラグ ○再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※A(無害) ○ 混和材料 混和剤 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種(JIS A6204) 混和材 ※フレイク(JIS A6201) I種又はII種 3 型枠(せき板) (8.1.4) (8.2.6) 合板の規格 ※「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板 ○ 合板の材質 ※広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ 厚さ(mm) ※12 ○ 打放し仕上げのせき板 (表8.1.3) ※合板せき板を用いる場合 種別 板面の品質 施工箇所 ○A種 ※8.2.6(b)(1) ○ ○B種 ※8.2.6(b)(2) ○ ○C種 ※8.2.6(b)(2) ○ ○合板せき板を用いない場合 せき板の種別 コンクリート面の仕上げり程度 ※8.1.4(d)(2)(i)② ○ 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※図示 ○20 シアコネクターとセパレーターの兼用 ○可 ○不可 スリーブに用いる材料 ○鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○溶融垂鉛めっき鋼板 ○つば付き鋼管 4 構造体強度補正值 (8.5.5) ※気温による構造体強度補正值(S) (表8.5.1) 予想平均気温(°C) 補正值(T) 期間(打設日) 普通 早強 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6~6/31 3/11~7/20 3/11~7/10 N/mm <sup>2</sup> 9/11~11/15 9/1~11/5 9/1~10/31 0以上 0以上 6 11/16~3/5 11/6~3/10 11/1~3/10 8未満 5未満 N/mm <sup>2</sup> 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町村) 中部地域(上記以外の市町村、旧美山町及び旧京北町を含む) 室内の工事における温度補正 ○行わない(適用箇所 _____) ○行う 5 暑中におけるコンクリートの扱い (8.7.8) ※暑中における構造体強度補正值(S) (表8.5.1) 地域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補正值 北部地域 7月11日~8月31日 ※6 N/mm <sup>2</sup> 中部地域 7月21日~8月31日 ○3 N/mm <sup>2</sup> 南部地域 7月1日~9月10日 6 寒中コンクリート ※予想平均気温が表8.5.1に示す予想平均気温未満の場合には標準第6章第12節(寒中コンクリート)による。					
		12 畳敷き (6.12.2)			種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 (表6.12.1)		18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ※種類及び品質は表6.17.11による ○石こう系 ○セメント系 厚さ(mm) ※10 ○15	6 マステック塗材塗り (7.15.2)	1 鉄筋の種類 (8.2.1) (表8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備考 ※SD295A D16以下 ※SD345 D19以上 ○ ※SD295AはFc=21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	3 型枠(せき板) (8.1.4) (8.2.6) 合板の規格 ※「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板 ○ 合板の材質 ※広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ 厚さ(mm) ※12 ○ 打放し仕上げのせき板 (表8.1.3) ※合板せき板を用いる場合 種別 板面の品質 施工箇所 ○A種 ※8.2.6(b)(1) ○ ○B種 ※8.2.6(b)(2) ○ ○C種 ※8.2.6(b)(2) ○ ○合板せき板を用いない場合 せき板の種別 コンクリート面の仕上げり程度 ※8.1.4(d)(2)(i)② ○ 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※図示 ○20 シアコネクターとセパレーターの兼用 ○可 ○不可 スリーブに用いる材料 ○鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○溶融垂鉛めっき鋼板 ○つば付き鋼管 4 構造体強度補正值 (8.5.5) ※気温による構造体強度補正值(S) (表8.5.1) 予想平均気温(°C) 補正值(T) 期間(打設日) 普通 早強 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6~6/31 3/11~7/20 3/11~7/10 N/mm <sup>2</sup> 9/11~11/15 9/1~11/5 9/1~10/31 0以上 0以上 6 11/16~3/5 11/6~3/10 11/1~3/10 8未満 5未満 N/mm <sup>2</sup> 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町村) 中部地域(上記以外の市町村、旧美山町及び旧京北町を含む) 室内の工事における温度補正 ○行わない(適用箇所 _____) ○行う 5 暑中におけるコンクリートの扱い (8.7.8) ※暑中における構造体強度補正值(S) (表8.5.1) 地域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補正值 北部地域 7月11日~8月31日 ※6 N/mm <sup>2</sup> 中部地域 7月21日~8月31日 ○3 N/mm <sup>2</sup> 南部地域 7月1日~9月10日 6 寒中コンクリート ※予想平均気温が表8.5.1に示す予想平均気温未満の場合には標準第6章第12節(寒中コンクリート)による。	
6	13 せつこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) ~ (6.13.3)	種別 ※表6.13.11によるJIS規格品とする (表6.13.1) 種類 規格・厚さ(mm) 等 ※せつこうボード(GB-R) ※12.5(不燃) ○9.5(準不燃) ○化粧せつこうボード(GB-D) ○杉柁模様 ○12.5(不燃) ○トラバーチン模様 ○12.5(不燃) (柁下地は専用のものとする) ○不燃積層せつこうボード(GB-NC) ○トラバーチン模様 ※9.5(不燃) ○模様なし ○シーキングせつこうボード(GB-S) ○15(不燃) ○12.5(準不燃) ※9.5(準不燃) ○強化せつこうボード(GB-F) ○21(不燃) ○15(不燃) ○12.5(不燃) ○ロックウール吸音ボード(RW-B) ※25 ○ ○グラスウール吸音ボード(GW-B) ※25 ○ ○吸音あなきせつこうボード(GB-P) ○9.5(準不燃) ○ロックウール化粧吸音板(DR) 内部用 フラット ○12(不燃) ※9(不燃) 立体模様 ○15(不燃) ※12(不燃) 軒天用 フラット ○12(不燃) ※9(不燃) 立体模様 ○15(不燃) ※12(不燃) ○けい酸カルシウム板(0.8FK) タイプ2 (無石綿) ○8.0 ○6.0 ○ ○メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による ※1.2 ○難燃木毛セメント板 ○30 ○25 ○20 ○15 ○断熱木毛セメント板 ○30 ○25 ○20 ○15 ○普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種 (※難燃処理○防煙処理) 表板の品質 防虫処理○行う ○天然化粧合板 厚さ 接着の程度 (※難燃処理○防煙処理) 化粧板樹種 ○なら ○しおじ 防虫処理○行う ○特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 (※難燃処理○防煙処理) 表面性能 ○F ○FW ○W ○WS 防虫処理○行う ○その他下張り用合板	7 塗装改修工事	① 塗装業者 ※日本塗装工業会の会員 ※監督職員の承諾する塗装業者 ② 塗装材料 (7.1.3) 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める ※F☆☆☆☆ ○F☆☆☆☆ ○ 塗料のトルエン、キシレン、イソペンテン ※含有量の少ない規格品 (表7.2.1)~(表7.2.7) 素地 種別 備考 木部 ○RA種 ※RB種 ○RC種 鉄鋼面 ○RA種 ※RB種 ○RC種 垂鉛めっき面 ○RA種 ※RB種 ○RC種 モルタル及びプラスター面 ○RA種 ※RB種 ひび割れ部の補修 ○適用する ○適用しない コンクリート面及びALCパネル面 ○RA種 ※RB種 ひび割れ部の補修 ○適用する ○適用しない コンクリート面及び押出成形セメント面 ○RA種 ○RB種 ひび割れ部の補修 ○適用する ○適用しない 石こうボード及びその他ボード面 ○RA種 ※RB種 ○RC種 錆止め塗料の種類 (表7.3.1)~(表7.3.4) 塗面 種別 規格名称 屋外 屋内 塗料種類 塗装工程種別 備考 鉄 A種 シヤキド鉛さび止め ※ ○ 2種 新規鉄鋼面 鉛・カドミウムさび止め ○ ○ 1種 ※A種 ○B種 ○C種 見え隠れ部分 鋼 B種 水系さび止め - ○ - ※A種 ※B種 ○C種 EP-G塗 面 鉛・カドミウムさび止め - ○ 2種 塗替え ○A種 ○B種 ※C種 垂鉛 A種 鉛酸カドミウムさび止め ※ ※ - ○ A種 ○ B種 B種 変成球状樹脂プライマー ○ ○ - ○ C種(塗替え) 面 C種 水系さび止め - ○ - EP-G塗	8-1 耐震補強工事 (鉄筋工事)	1 鉄筋の種類 (8.2.1) (表8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備考 ※SD295A D16以下 ※SD345 D19以上 ○ ※SD295AはFc=21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)	3 鉄筋の継手 (8.3.4) (8.4.2) 部 位 接合方法 径(mm) 重ね継手の長さ ○ ○ ※ガス圧接 ○重ね継手 D19以上 ※改修標準 ○ ○ 機械式継手 8.3.4(c)による ○ ○ ガス圧接 ※重ね継手 D16以下 ○別図表による ○機械式継手 種類 ○( ) 工法 ○( ) 品質確認方法、修正方法等 ○( ) 継手位置 ※構造図による ○( ) 鉄筋先組工法の柱・梁の主筋の継手を同一箇所に行ける場合 ※構造図による 定着長さ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ※構造図による ○( ) 4 柱の帯筋 (8.3.4) ○H型 ※W-I型 ○W-II型 ○図示 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) ※かぶり厚さは目地底から算定する。 ※耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所等 最小かぶり厚さ(mm) 特殊な鉄筋継手のあき ○( ) 6 壁の筋筋及び補強 (8.3.7) ※構造特記による 7 圧接完了後の試験 (8.3.8) ※超音波探傷試験 ○引張試験			
		14 壁紙張り (6.14.2) ~ (6.14.3)		防火性能・品質・規格・施工箇所 ※図示による ○下表による 施行箇所 防火性能 品質・規格 壁紙のホルムアルデヒドの放散量 JISで定める ※F☆☆☆☆ ○大臣認定品 ○ 下地調整 モルタル及びプラスター面 ○RA種 ※RB種 (表7.2.4) コンクリート面 ○RA種 ※RB種 (表7.2.5) せつこうボード面 ○RA種 ※RB種 (表7.2.7)	③ 下地調整 (7.2.2) ~ (7.2.7) ④ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3)	6 マステック塗材塗り (7.15.2)	1 鉄筋の種類 (8.2.1) (表8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径(mm) 備考 ※SD295A D16以下 ※SD345 D19以上 ○ ※SD295AはFc=21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)	3 鉄筋の継手 (8.3.4) (8.4.2) 部 位 接合方法 径(mm) 重ね継手の長さ ○ ○ ※ガス圧接 ○重ね継手 D19以上 ※改修標準 ○ ○ 機械式継手 8.3.4(c)による ○ ○ ガス圧接 ※重ね継手 D16以下 ○別図表による ○機械式継手 種類 ○( ) 工法 ○( ) 品質確認方法、修正方法等 ○( ) 継手位置 ※構造図による ○( ) 鉄筋先組工法の柱・梁の主筋の継手を同一箇所に行ける場合 ※構造図による 定着長さ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ※構造図による ○( ) 4 柱の帯筋 (8.3.4) ○H型 ※W-I型 ○W-II型 ○図示 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) ※かぶり厚さは目地底から算定する。 ※耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所等 最小かぶり厚さ(mm) 特殊な鉄筋継手のあき ○( ) 6 壁の筋筋及び補強 (8.3.7) ※構造特記による 7 圧接完了後の試験 (8.3.8) ※超音波探傷試験 ○引張試験		



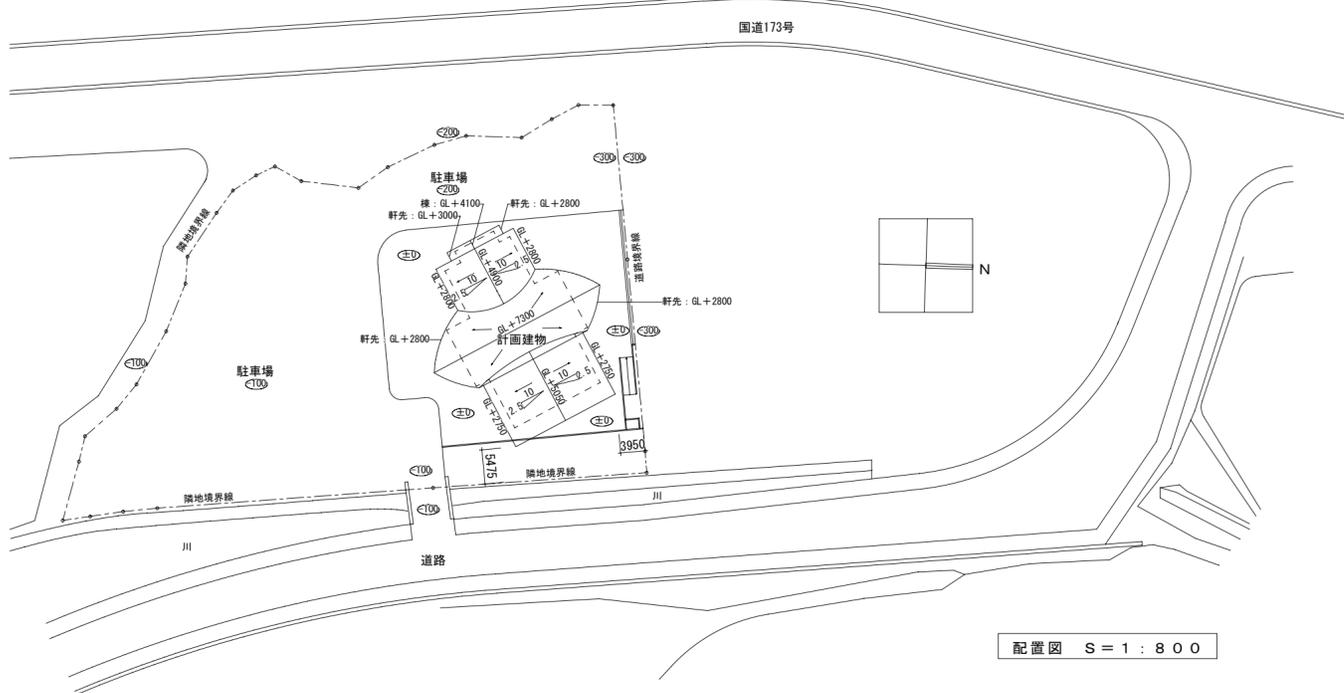




計画敷地：京都府船井郡京丹波町大朴地内

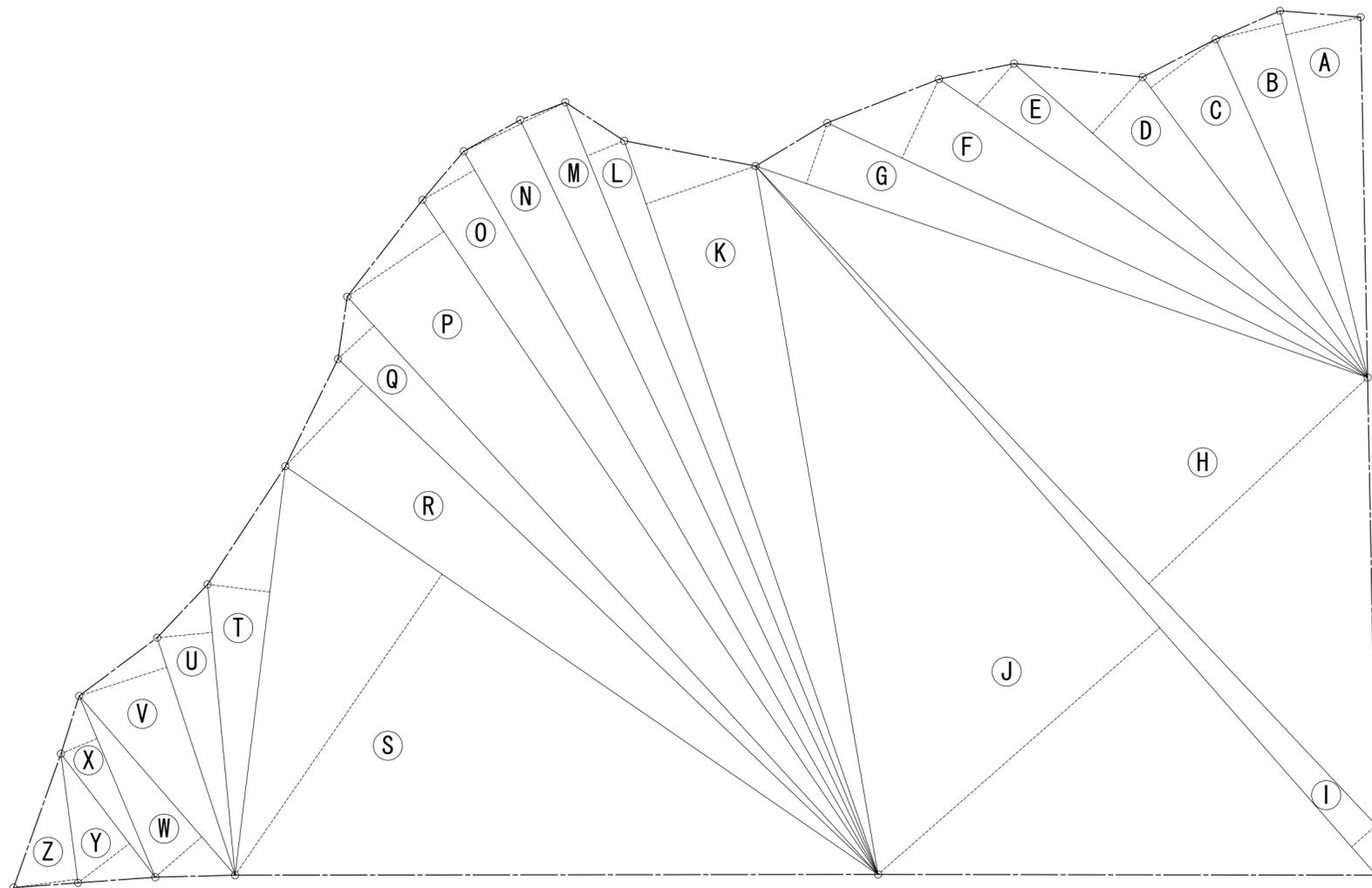


附近見取り図 S = 1 : 2 5 0 0 0



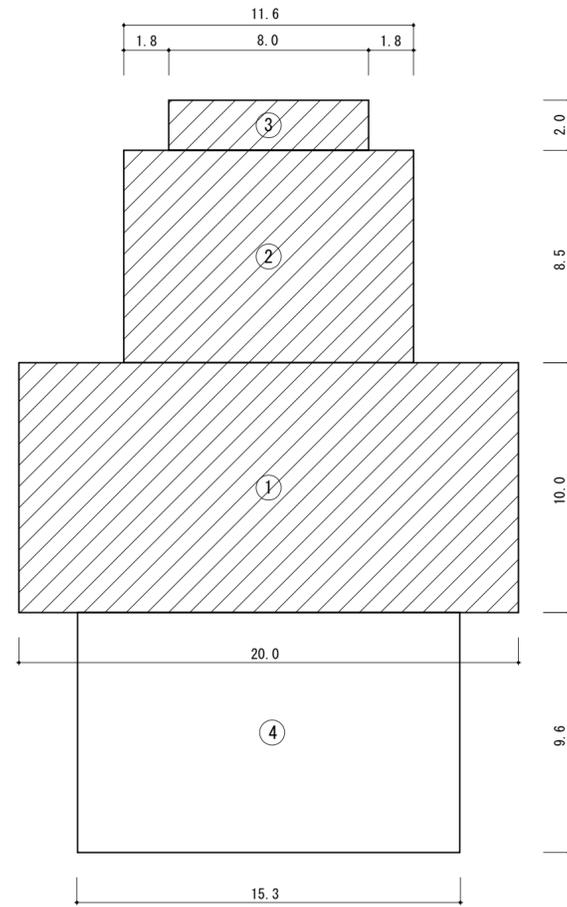
配置図 S = 1 : 8 0 0

訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	附近見取り図	縮尺 1/800	図面No. A-09	設計No.				園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
					年月日						



■敷地面積算定式

	底辺	×	高さ	=	
Ⓐ	25.94	×	5.29	=	137.22
Ⓑ	25.94	×	4.76	=	123.47
Ⓒ	25.83	×	5.59	=	144.38
Ⓓ	32.54	×	5.18	=	168.55
Ⓔ	35.94	×	3.83	=	137.66
Ⓕ	41.11	×	6.00	=	246.66
Ⓖ	44.57	×	4.42	=	196.99
Ⓗ	62.32	×	0.69	=	1289.40
Ⓘ	64.86	×	2.26	=	146.58
Ⓙ	64.86	×	25.77	=	1671.44
Ⓚ	53.42	×	7.98	=	426.29
Ⓛ	57.33	×	2.76	=	158.23
Ⓜ	57.47	×	3.33	=	191.37
Ⓝ	57.47	×	4.43	=	254.59
Ⓞ	57.36	×	4.14	=	237.47
Ⓟ	56.02	×	8.02	=	449.28
Ⓠ	54.00	×	3.36	=	181.44
Ⓡ	51.39	×	7.85	=	403.41
Ⓢ	49.54	×	25.14	=	1245.43
Ⓣ	28.35	×	4.32	=	122.47
Ⓤ	20.10	×	3.81	=	76.58
Ⓥ	17.20	×	6.34	=	109.04
Ⓦ	16.35	×	4.24	=	69.32
Ⓧ	13.53	×	2.70	=	36.53
Ⓨ	10.69	×	4.46	=	47.67
Ⓩ	8.96	×	4.44	=	39.78
	倍面積				8311.24
	敷地面積				4155.62 (㎡)

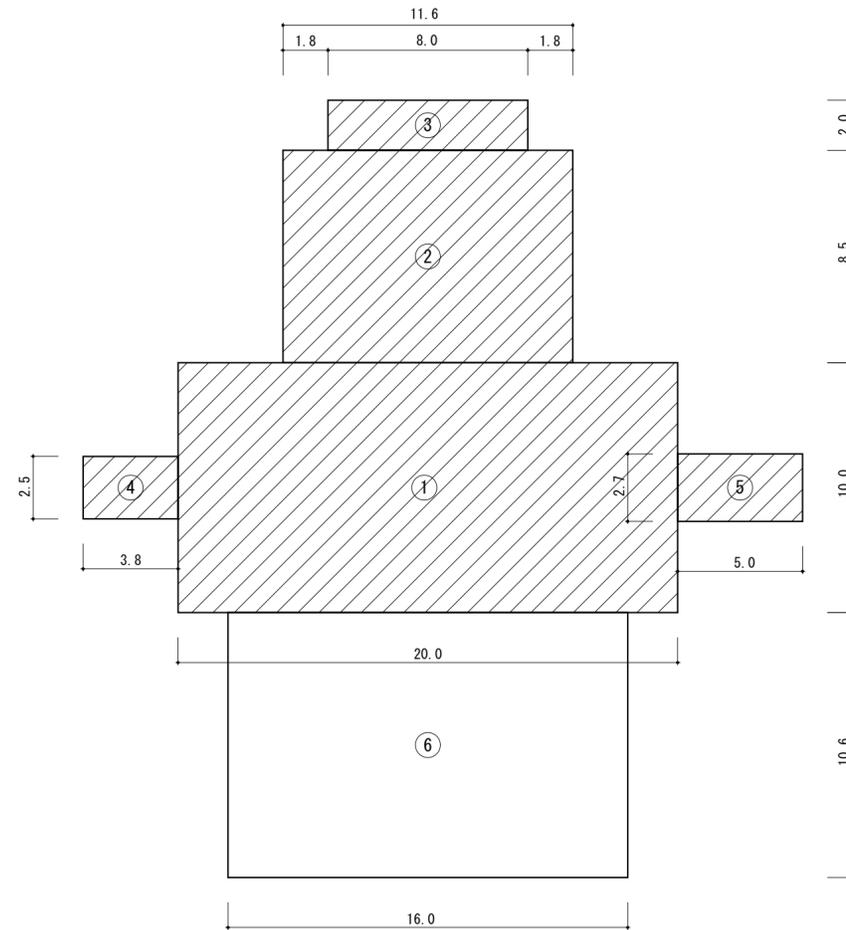


■延床面積

①	$20.0 \times 10.0 = 200.0$
②	$11.6 \times 8.5 = 98.6$
③	$8.0 \times 2.0 = 16.0$
④	$15.3 \times 9.6 = 146.88$
総合計	461.48 (㎡)

■容積率

$461.48 / 4155.62 \times 100 = 11.1049$
$= 11.11 \%$

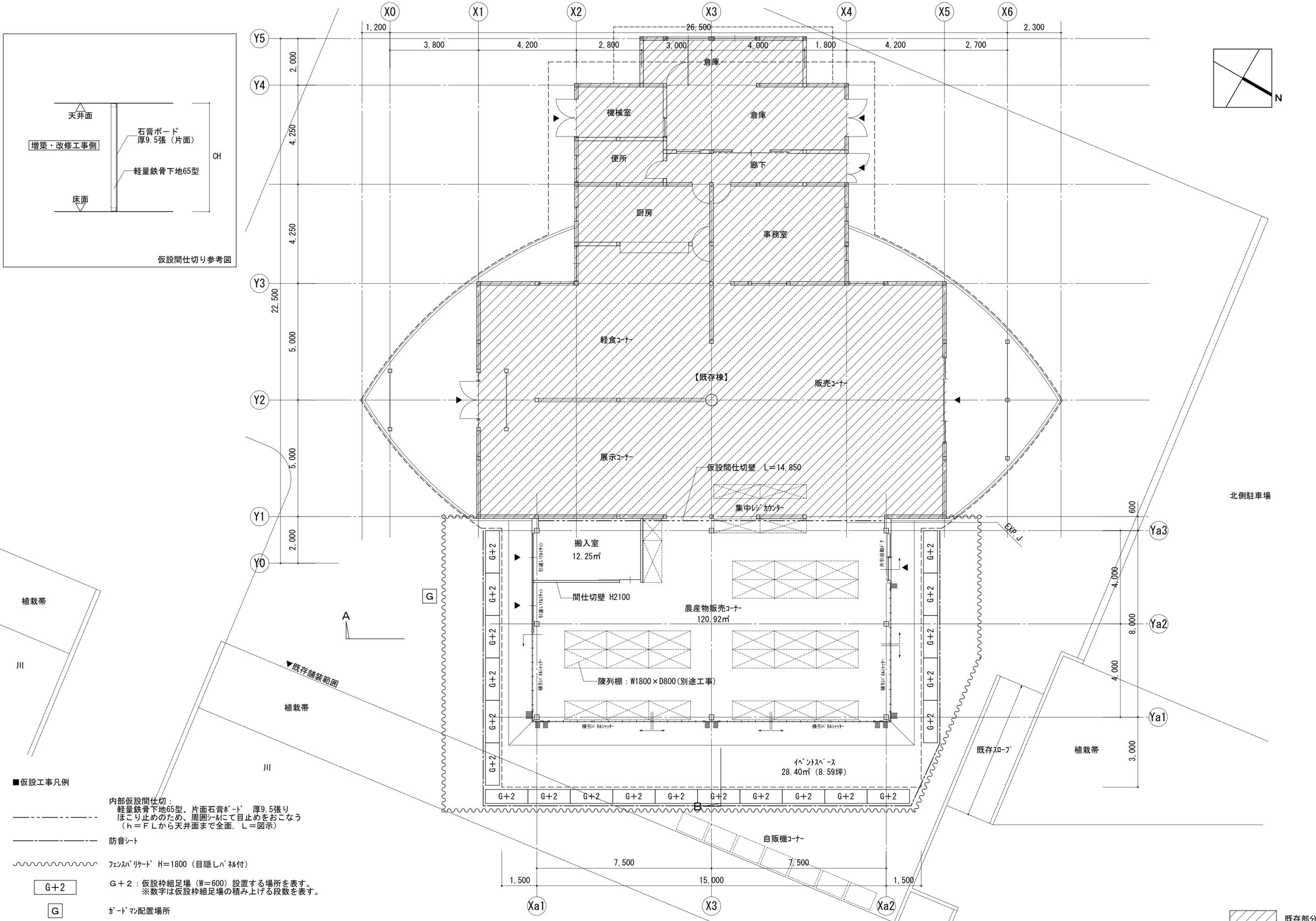
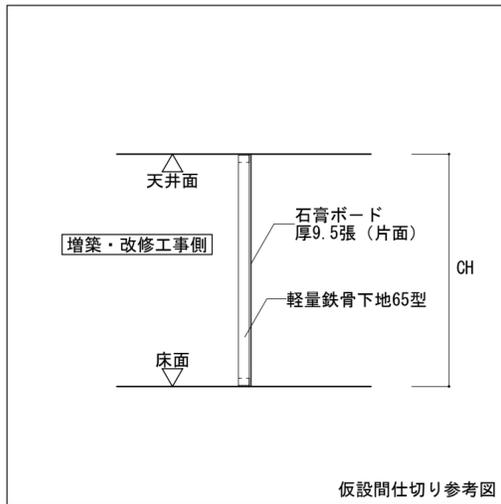


■建築面積

①	$20.0 \times 10.0 = 200.0$
②	$11.6 \times 8.5 = 98.6$
③	$8.0 \times 2.0 = 16.0$
④	$2.5 \times 3.8 = 9.5$
⑤	$2.7 \times 5.0 = 13.5$
⑥	$16.0 \times 10.6 = 169.6$
総合計	507.2 (㎡)

■建蔽率

$507.2 / 4155.62 \times 100 = 12.2051$
$= 12.21 \%$



- 仮設工事凡例
- 内部仮設間仕切:  
軽量鉄骨下地65型、片面石膏ボード 厚9.5張り  
ほごり止めのため、周囲シロにて目止めをおこなう  
(h = FLから天井面まで全面、L = 図示)
  - 防音シート
  - フェンスバリアード H=1800 (目隠しバ 補付)
  - G+2: 仮設柱組足場 (W=600) 設置する場所を表す。  
※数字は仮設柱組足場の積み上げる段数を表す。
  - G: ガードマン配置場所

既存部分

訂正	月日	工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	仮設計画図	縮尺 1/100 年月日	図面No. A-12	設計No.	園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
----	----	--------------------------	-------	-----------------	---------------	-------	--------------------------------

■外部仕上表

既 存 部	屋根 1	木軸組、耐水合板 t=15、水性プライマー、ガムロンMGベ-スK、表面7mm箔圧着不燃シグ-ルー文字葺き(ガムロン工法)
	軒天井(屋根 1)	木下地、珪酸カルシウム版 t=6 底目地張り、EP塗装仕上
	外壁 1	木ずり13×100、ラスシート下地こすり、珪酸の上、吹付塗装かき落とし仕上
	腰壁(巾木)	コンクリート打ち放しの上、珪酸刷毛引き
	柱型、梁型	化粧柱 松集成材 150角、管柱 杉 105角、梁 松集成材
	外部床(犬走り)	砕石地業100mm、サントクッション30mmの上、インターロッキング t=60舗装
	開口部	窓 : アルミサッシ_アルマイト処理 出入口 : 松框扉 樹脂_コーティング塗装(3回) ガ-リ : スチ-ル_焼付塗装仕上
	軒樋、縦樋	軒樋: 内樋_ガムロンMG下地、ガムロンケ-キ- ヲ 縦樋: 硬質塩ビ_管 100φ VP塗装仕上
外部金物・その他		

増 築 部	屋根 2	木軸組、耐水合板 t=15、水性プライマー、ガムロンMGベ-スK、表面7mm箔圧着不燃シグ-ルー葺き
	屋根 3	鉄骨組、カ-ガ-ルバ-リウム鋼板製折板屋根 t=0.6 (30°ル-166/30°コ同等品) ※雪止金物付
	軒天井(屋根 2)	木下地、珪酸カルシウム版 t=6 底目地張り、EP塗装仕上
	軒天井(屋根 3)	屋根仕上材裏地表し(カ-ガ-ルバ-リウム鋼板製折板屋根 t=0.6 30°ル-166/30°コ同等品)
	外壁 2	St C-100×50 @600下地、カ-ガ-ルバ-リウム製角波ス-ント-ル張り
	腰壁(巾木)	
	柱型、梁型	梁型 鉄骨組、防錆塗装の上、SOP塗装仕上
	外部床(犬走り)	砕石地業 t=100、サントクッション t=30下地、インターロッキング t=60 舗装 ※既存品再利用
開口部	掃出窓 : アルミサッシ_電解着色処理(シルバー) ※仕様: パ-リアフリーサッシ フラットステ-ジ 引違い戸 ALC枠 / フジサッシ同等品 自動ドア : スチ-ル製 SOP仕上 横引きパ-ネルシャッター : アルミ製_電解着色処理(シルバー) ※仕様: パ-ネル-5S4-N / 文化シャッター同等品 自動ドア(既存障子取替) : スチ-ル製 SOP仕上	
軒樋、縦樋	軒樋: 硬質塩ビ_製 VP塗装仕上 縦樋: 硬質塩ビ_管 100φ VP塗装仕上	
外部金物・その他	エキ-パンジョン-ポイントガ- : 壁面_アルミ製 AX23AE/カネワ同等品、屋根面_アルミ製 AX12/カネワ同等品	

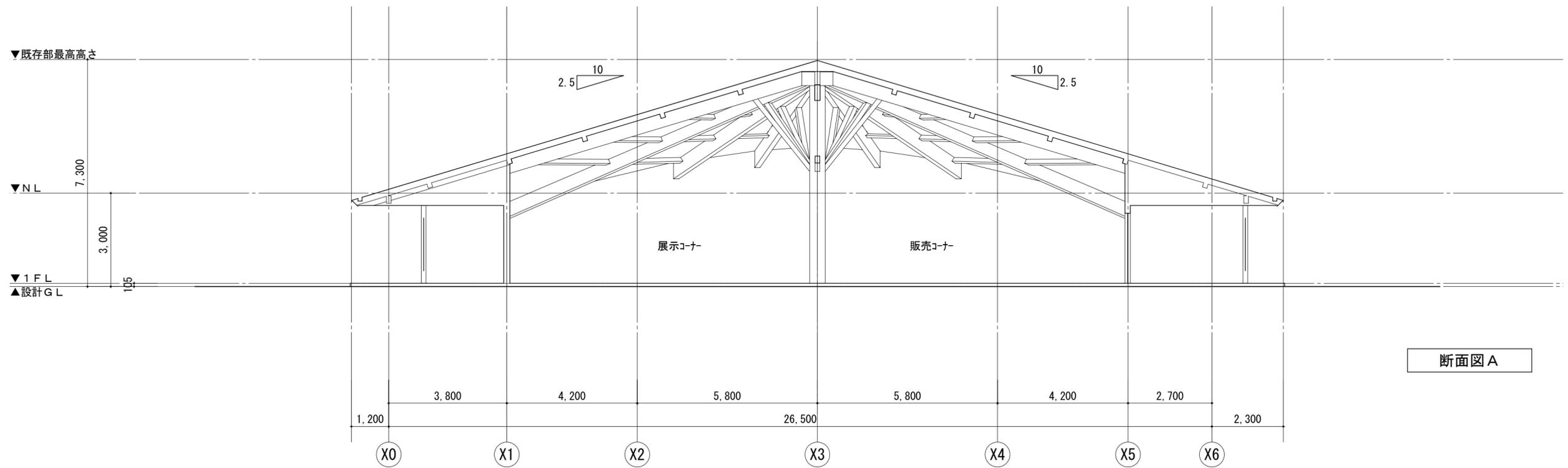
■内部仕上表

階	室名	天井高	床		巾木		壁(W)/柱型(C)		天井(CE)/梁型(GB)		備考 / 造作・造付家具等
			下地	仕上	仕上高さ	下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	
増築部	農産物販売コーナー搬入室(北面、東面、南面)	2800~4720	砕石地業 t=100 サントクッション t=30	インターロッキング t=60舗装 ※既存品再利用	—	St C-100×50 @600	(W): 外壁仕上材裏地表し (カ-ガ-ルバ-リウム製角波ス-ント-ル張り) (C): 鉄骨部材表し SOP	—	(CE): 屋根仕上材裏地表し (カ-ガ-ルバ-リウム鋼板製折板屋根 30°ル-166/30°コ同等品) (GB): 鉄骨部材表し SOP	—	集中レジカウンター(別途工事) 陳列棚(別途工事)
	農産物販売コーナー搬入室	2800~4720	砕石地業 t=100 サントクッション t=30	インターロッキング t=60舗装 ※既存品再利用	—	木製胴縁 LGS-65	(W西面): PB t=12.5の上、EP塗装仕上 (W間仕切壁H2100): PB t=12.5の上、EP塗装仕上 (C): 鉄骨部材表し SOP	—	(CE): 屋根仕上材裏地表し (カ-ガ-ルバ-リウム鋼板製折板屋根 30°ル-166/30°コ同等品) (GB): 鉄骨部材表し SOP	—	
既存部	販売・展示コーナー	—	土間コンクリート t=150 コ-押し下地	半硬質コンポ-ジションビ-ニ-ル床タイル張り	杉羽目板張り t=15	木製胴縁	既存 改修 (W): PB t=12.5のジョイント部パ-テ処理の上 リ-ン吹付仕上 (W東面): 既存仕上の上、 PB t=9.5のジョイント部パ-テ処理の上、EP塗装	木製野縁	(CE): 珪酸カルシウム板 t=6の上、EP塗装仕上 (GB): 木軸組表し	塩ビ_製	※東側(増築側)壁面の一部を改修
	軽食コーナー	—	土間コンクリート t=150 コ-押し下地	半硬質コンポ-ジションビ-ニ-ル床タイル張り	杉羽目板張り t=15	木製胴縁	(W): PB t=12.5のジョイント部パ-テ処理の上 リ-ン吹付仕上 (C): 木軸組表し	木製野縁	(CE): 珪酸カルシウム板 t=6の上、EP塗装仕上	塩ビ_製	※改修箇所なし
	厨房コーナー	2400	—	土間コンクリート t=150 コ-押しの上 珪酸樹脂塗床仕上	珪酸樹脂塗床仕上	木製胴縁	(W): 珪酸カルシウム板 t=6の上 陶器質タイル100×100接着貼り	木製野縁	(CE): 珪酸カルシウム板 t=6の上、EP塗装仕上	塩ビ_製	※改修箇所なし
	事務室(休憩スペース含む)	2400	土間コンクリート t=150 コ-押し下地	長尺塩ビ-シート張り	ソフト巾木	木製胴縁	(W): PB t=12.5の上、ビ-ニ-ルクロス張り	木製野縁	(CE): 珪酸カルシウム板 t=6の上、EP塗装仕上	塩ビ_製	※改修箇所なし
	便所	2400	土間コンクリート t=150	珪酸下地の上、せっ器質タイル100×100貼り	—	木製胴縁	(W): 珪酸カルシウム板 t=6の上 陶器質タイル100×100接着貼り	木製野縁	(CE): 珪酸カルシウム板 t=6の上、EP塗装仕上	塩ビ_製	※改修箇所なし
	倉庫	2400	—	土間コンクリート t=150 コ-押し	珪酸コ-押し	木製胴縁	(W): PB t=12.5の上、EP塗装仕上	木製野縁	(CE): 珪酸カルシウム板 t=6の上、EP塗装仕上	塩ビ_製	※改修箇所なし
	機械室	2400	—	土間コンクリート t=150 コ-押し	珪酸コ-押し	木製胴縁	(W): PB t=12.5の上、EP塗装仕上	木製野縁	(CE): 珪酸カルシウム板 t=6の上、EP塗装仕上	塩ビ_製	※改修箇所なし
	廊下	2400	土間コンクリート t=150 コ-押し下地	長尺塩ビ-シート張り	ソフト巾木	木製胴縁	(W): PB t=12.5の上、ビ-ニ-ルクロス張り	木製野縁	(CE): 化粧PB t=9.5張り	塩ビ_製	※改修箇所なし

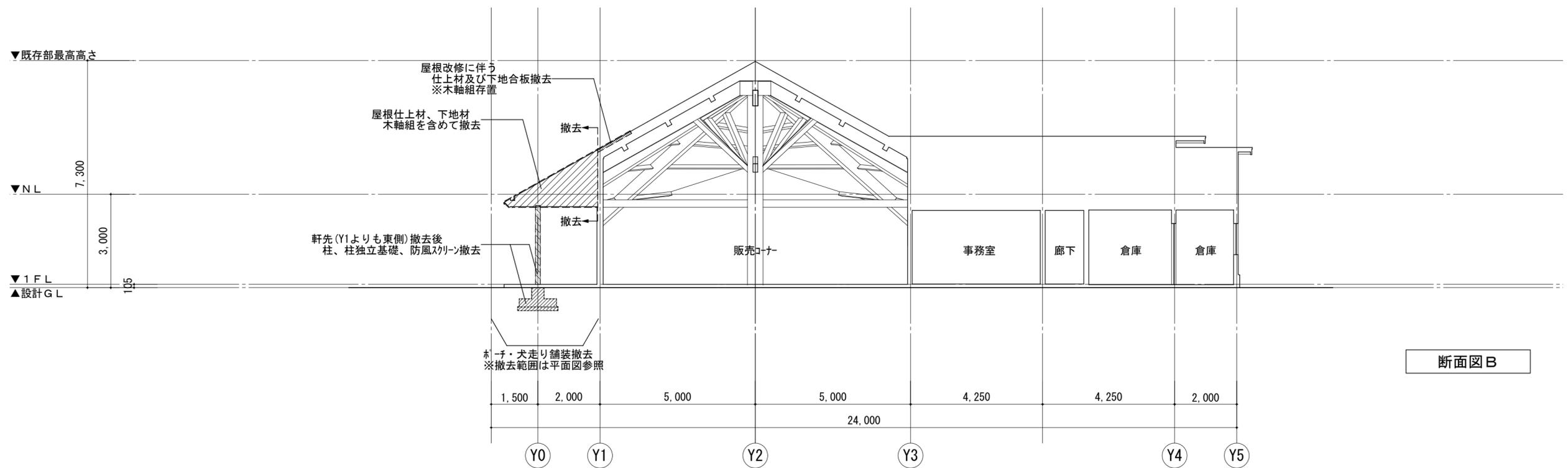






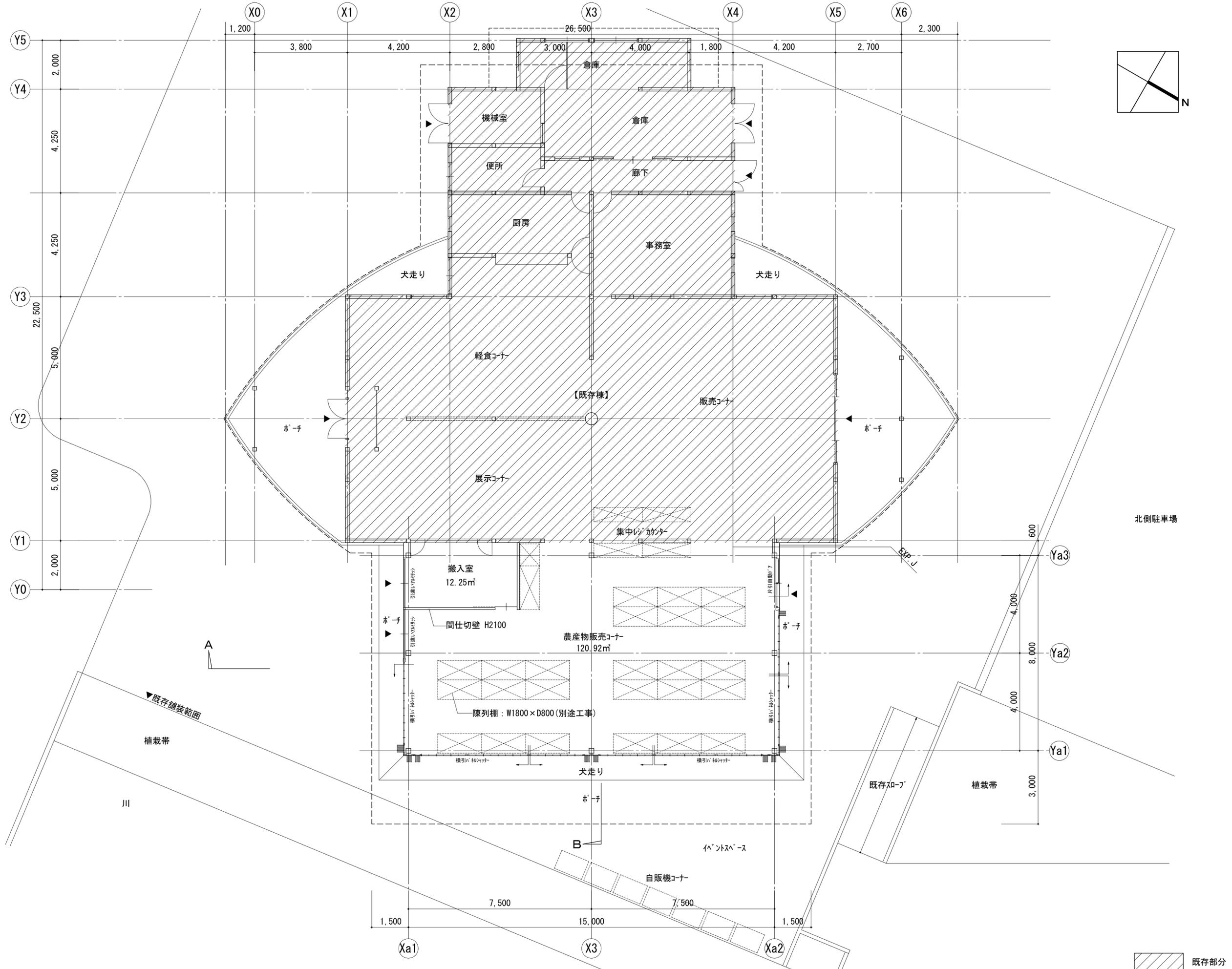


断面図A



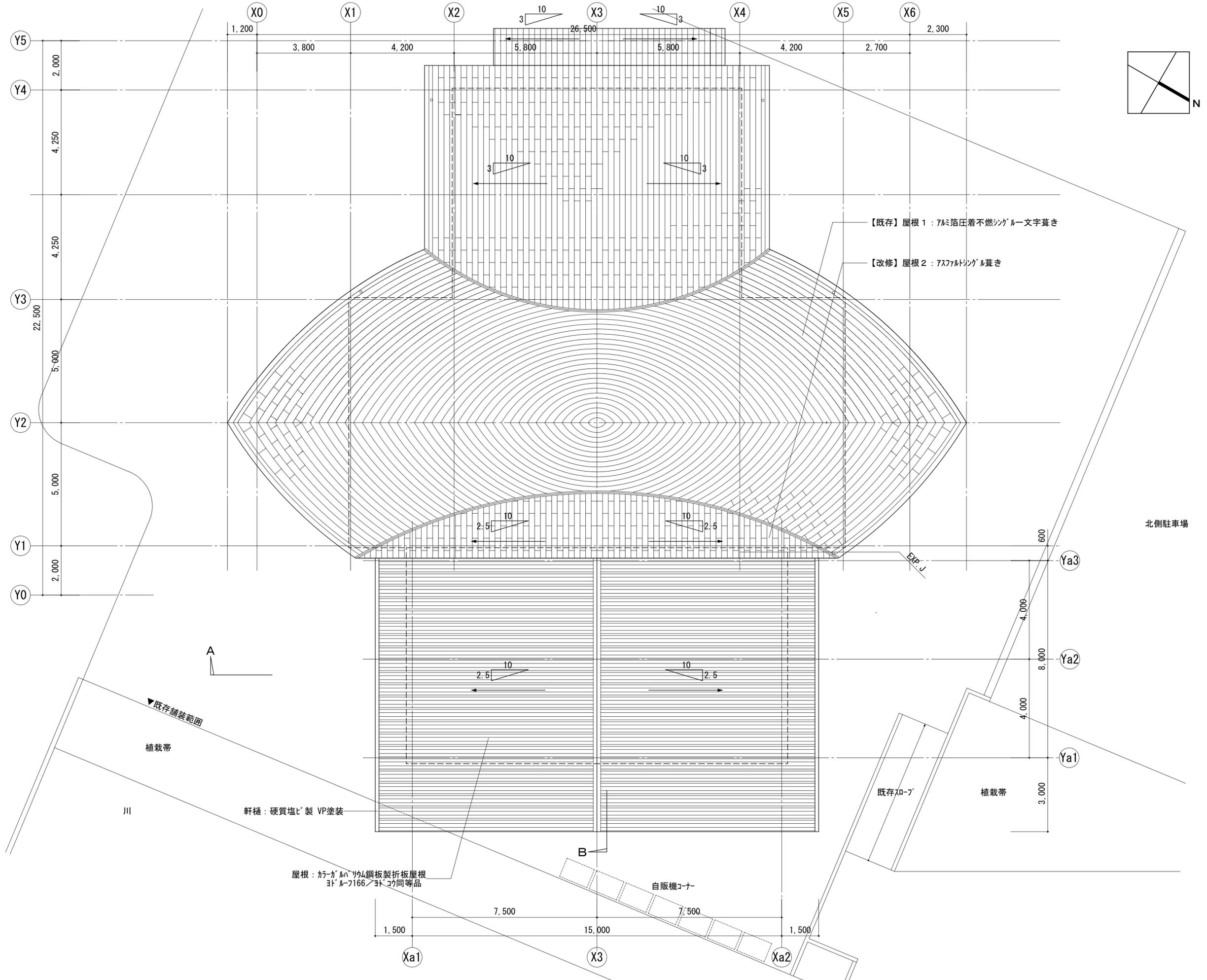
断面図B

訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	【既存・撤去】断面図	縮尺 1/100	図面No. A-17	設計No.	園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
				年月日				



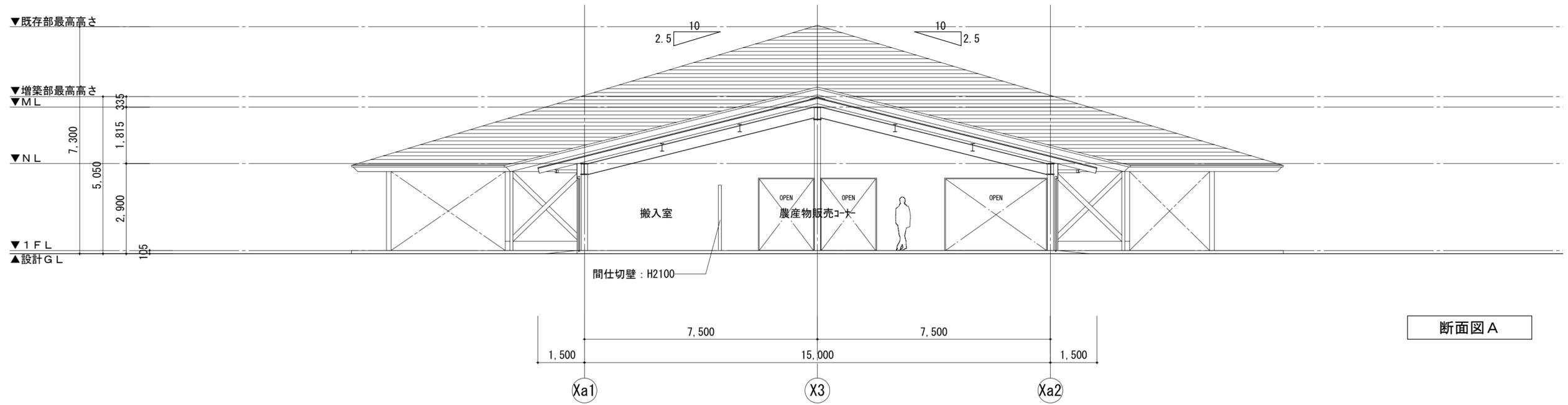
既存部分

訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	【改修・増築】平面図	縮尺 1/100	図面No. A-18	設計No.				園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
					年月日						

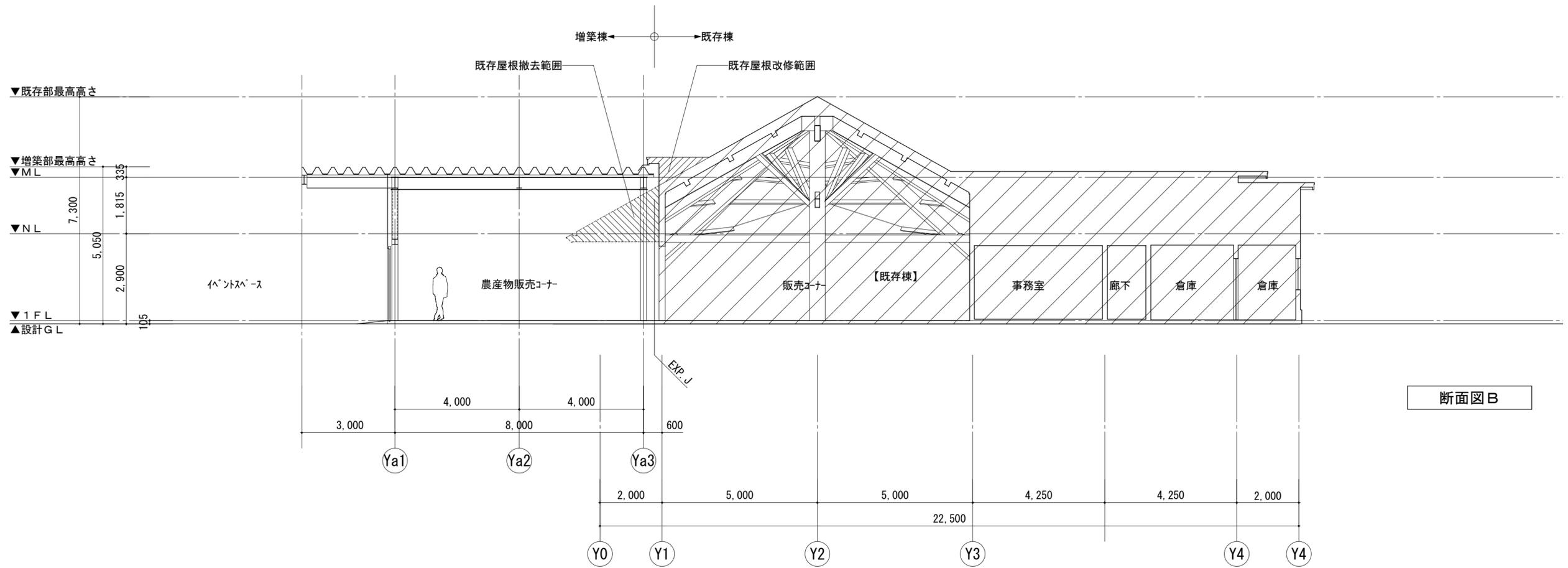


訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	【改修・増築】屋根伏図	縮尺 1/100	図面No. A-19	設計No.					園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
					年月日							



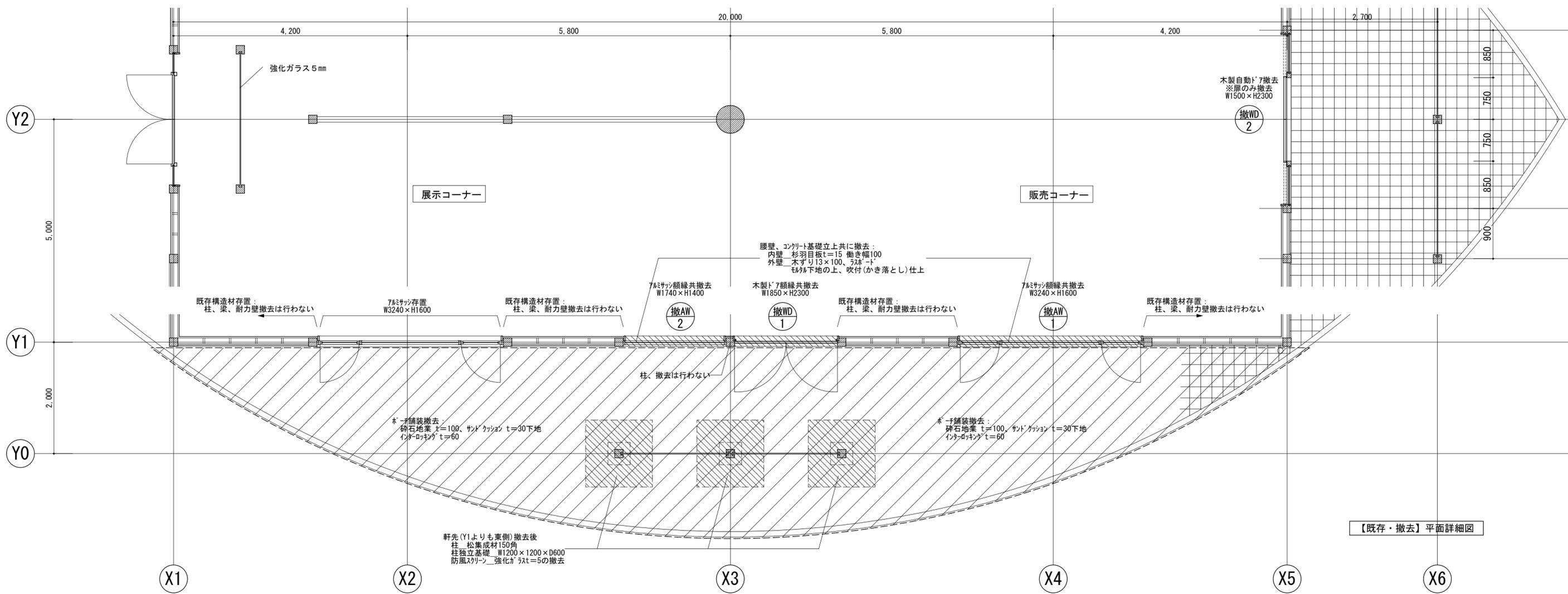


断面図 A

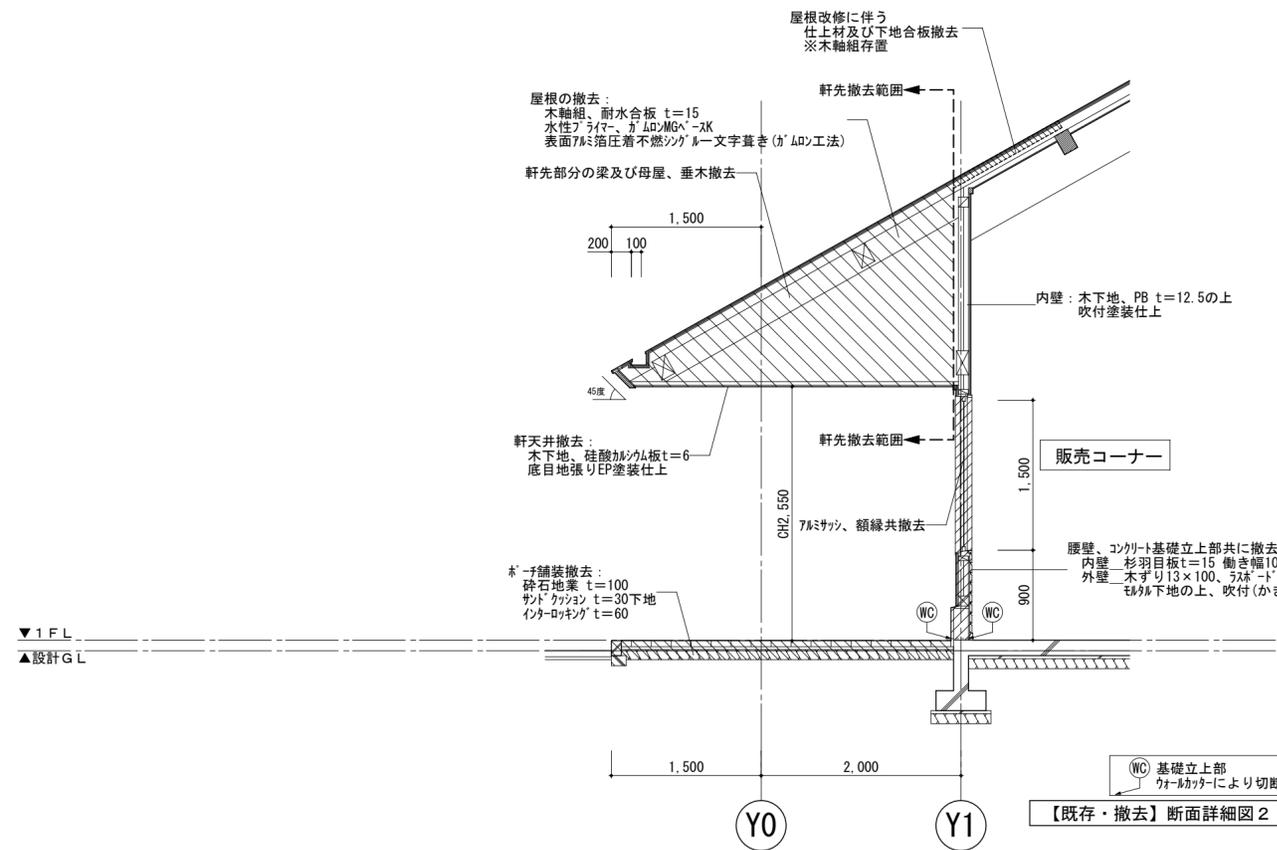
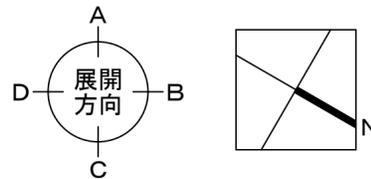


断面図 B

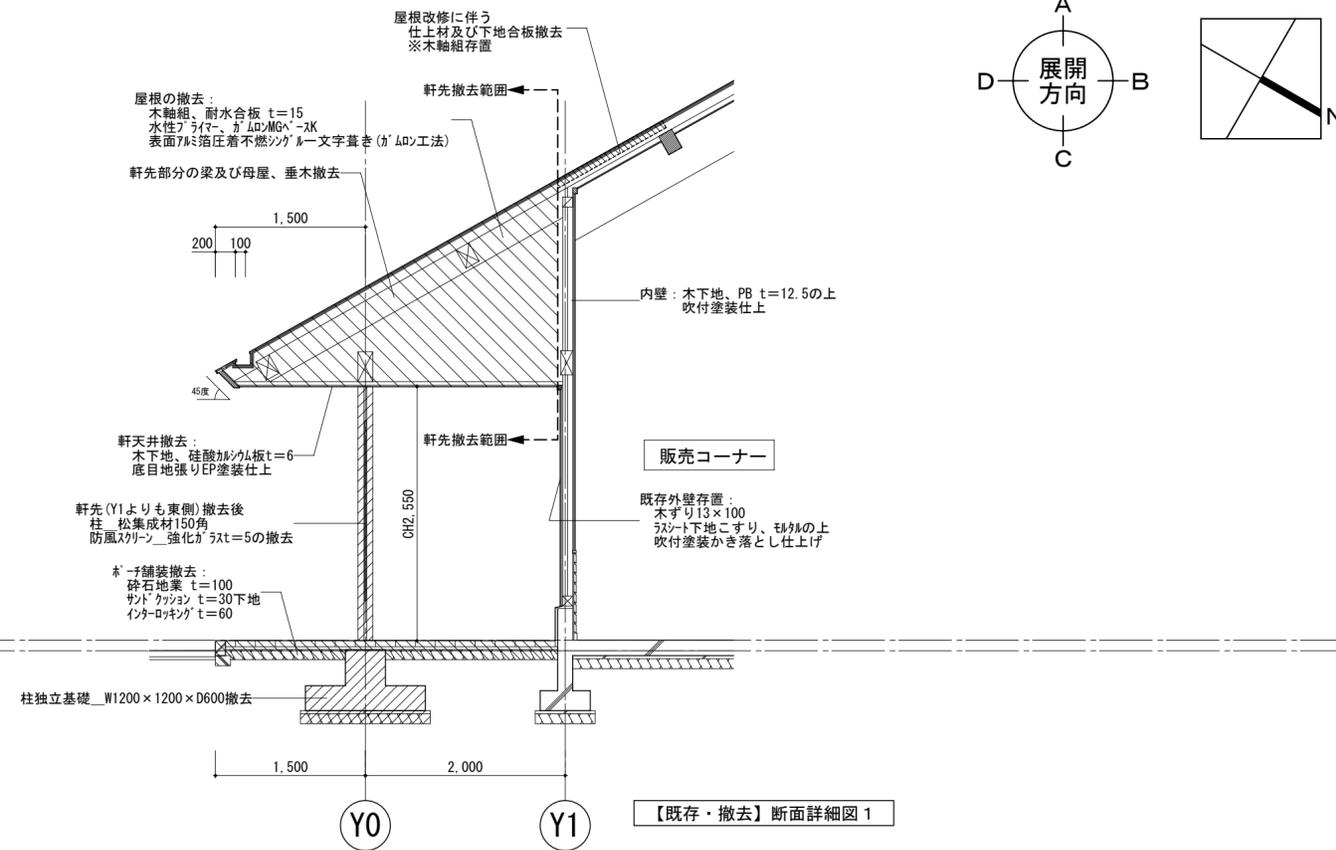
訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	【改修・増築】断面図	縮尺 1/100	図面No. A-21	設計No.				園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
					年月日						



【既存・撤去】平面詳細図

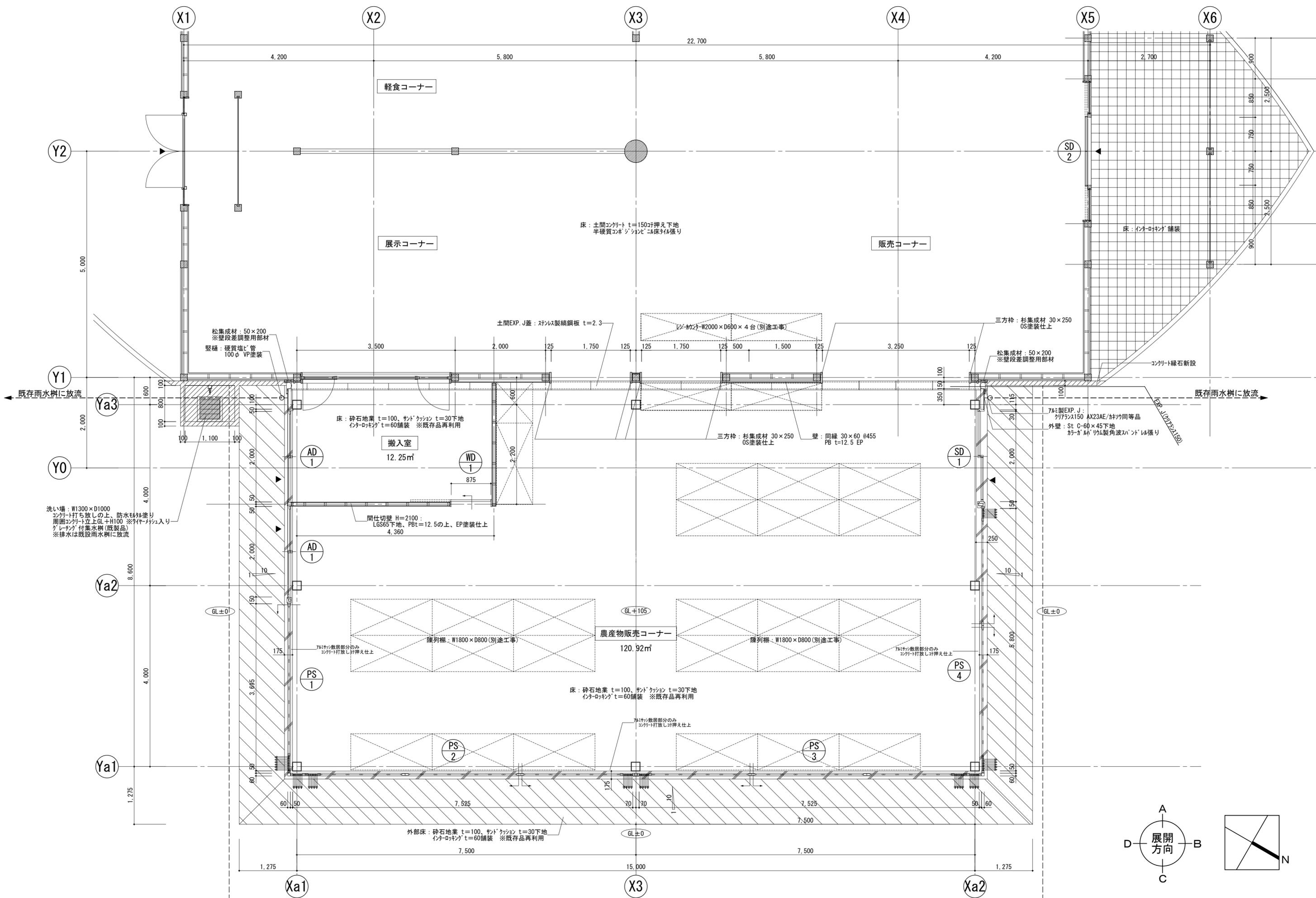


【既存・撤去】断面詳細図 2



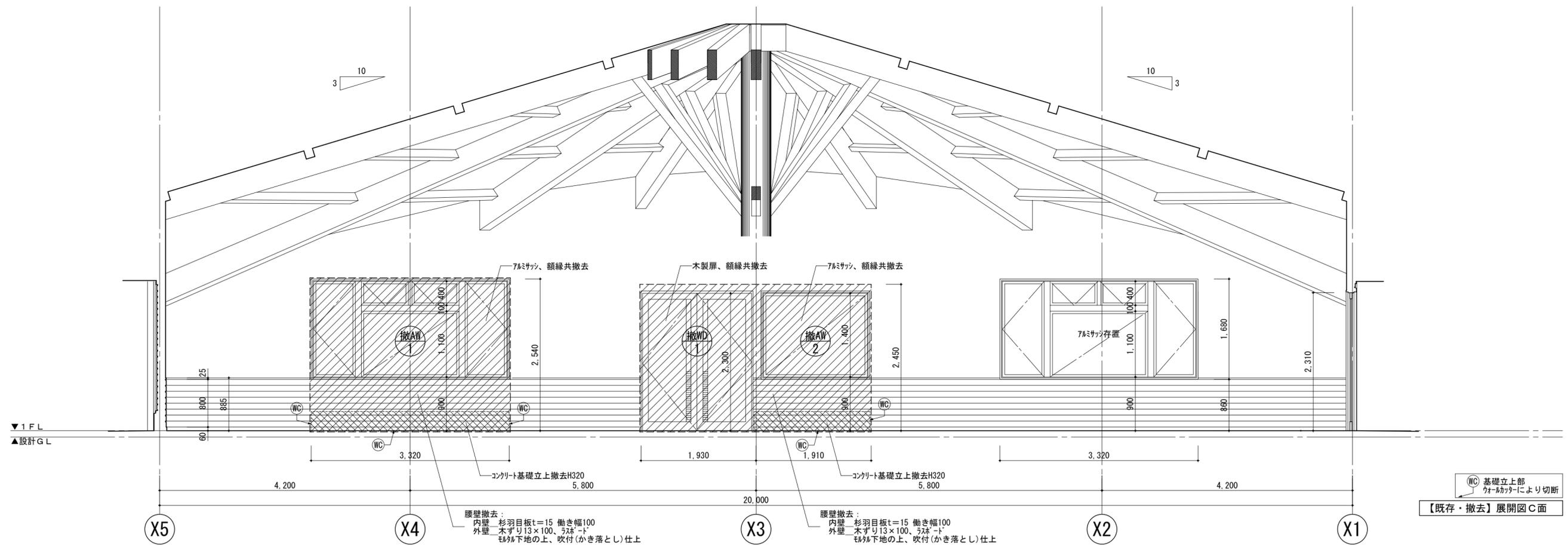
【既存・撤去】断面詳細図 1

訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	【既存・撤去】平面詳細図	縮尺 1/50	図面No. A-22	設計No.			園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
				【既存・撤去】断面詳細図	年月日					



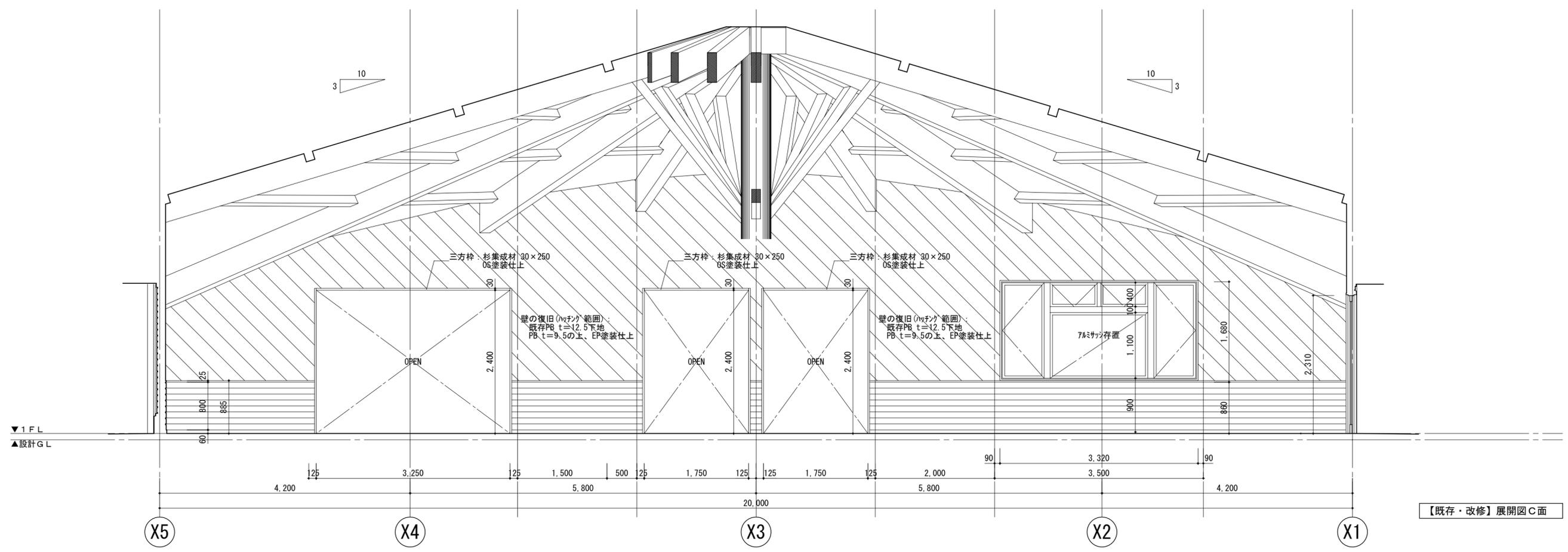
訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	【改修・増築】平面詳細図	縮尺 1/50	図面No. A-23	設計No.					園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号





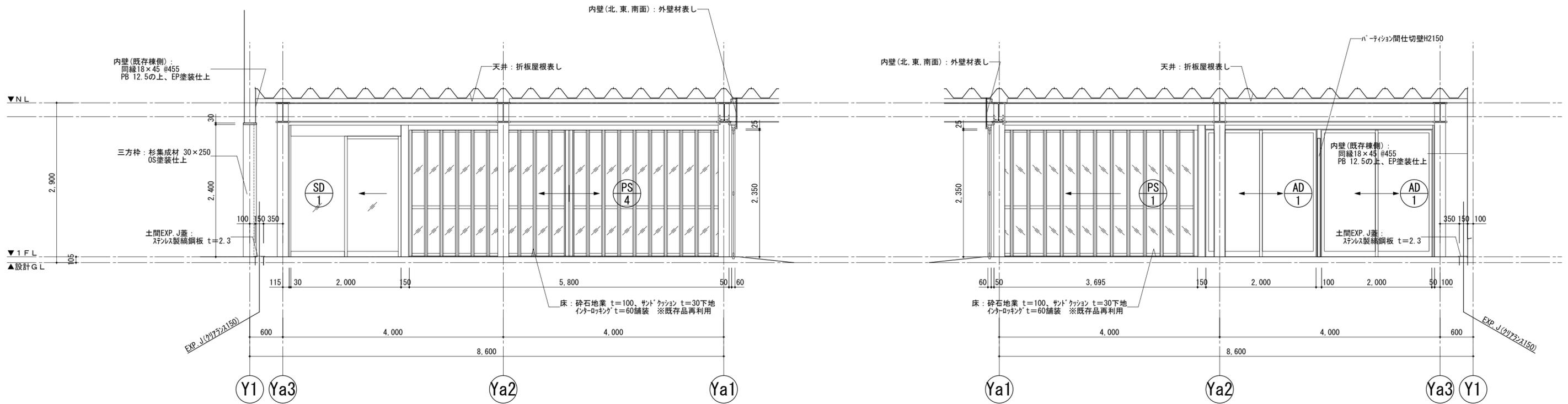
WC 基礎立上部  
ウォールカッターにより切断

【既存・撤去】展開図C面



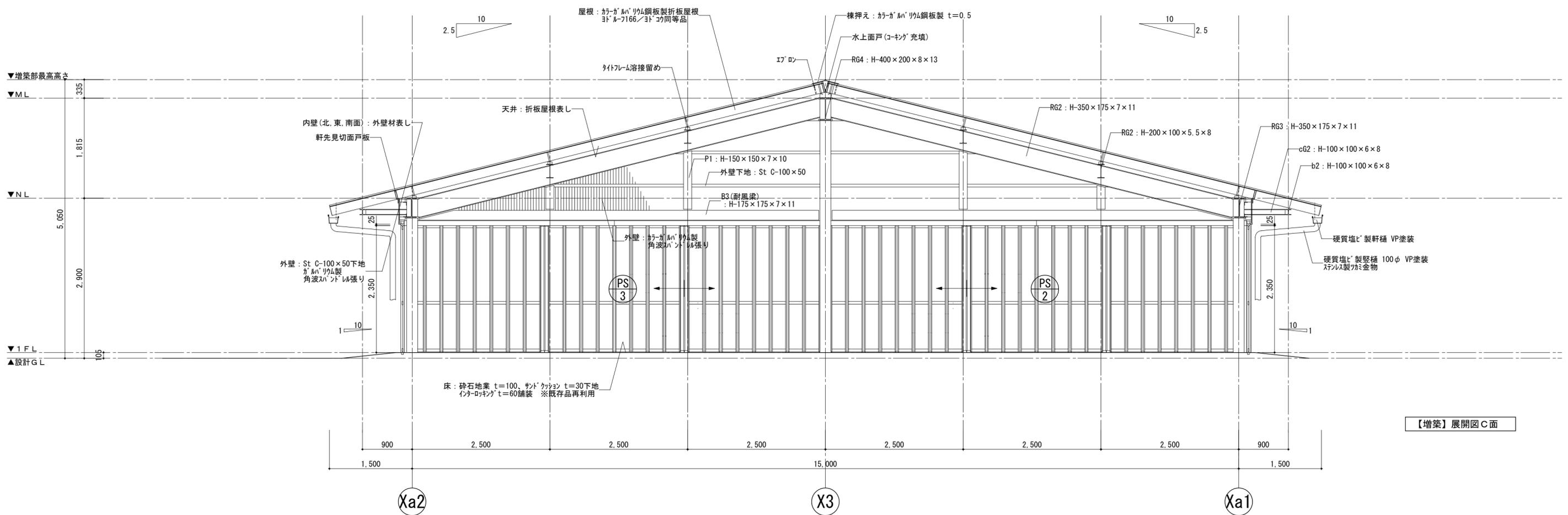
【既存・改修】展開図C面

訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	【既存・撤去/改修】展開図	縮尺 1/50	図面No. A-25	設計No.			園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
					年月日					



【増築】展開図B面

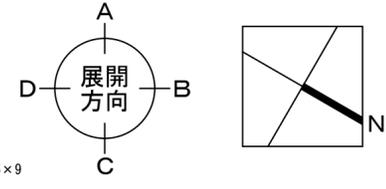
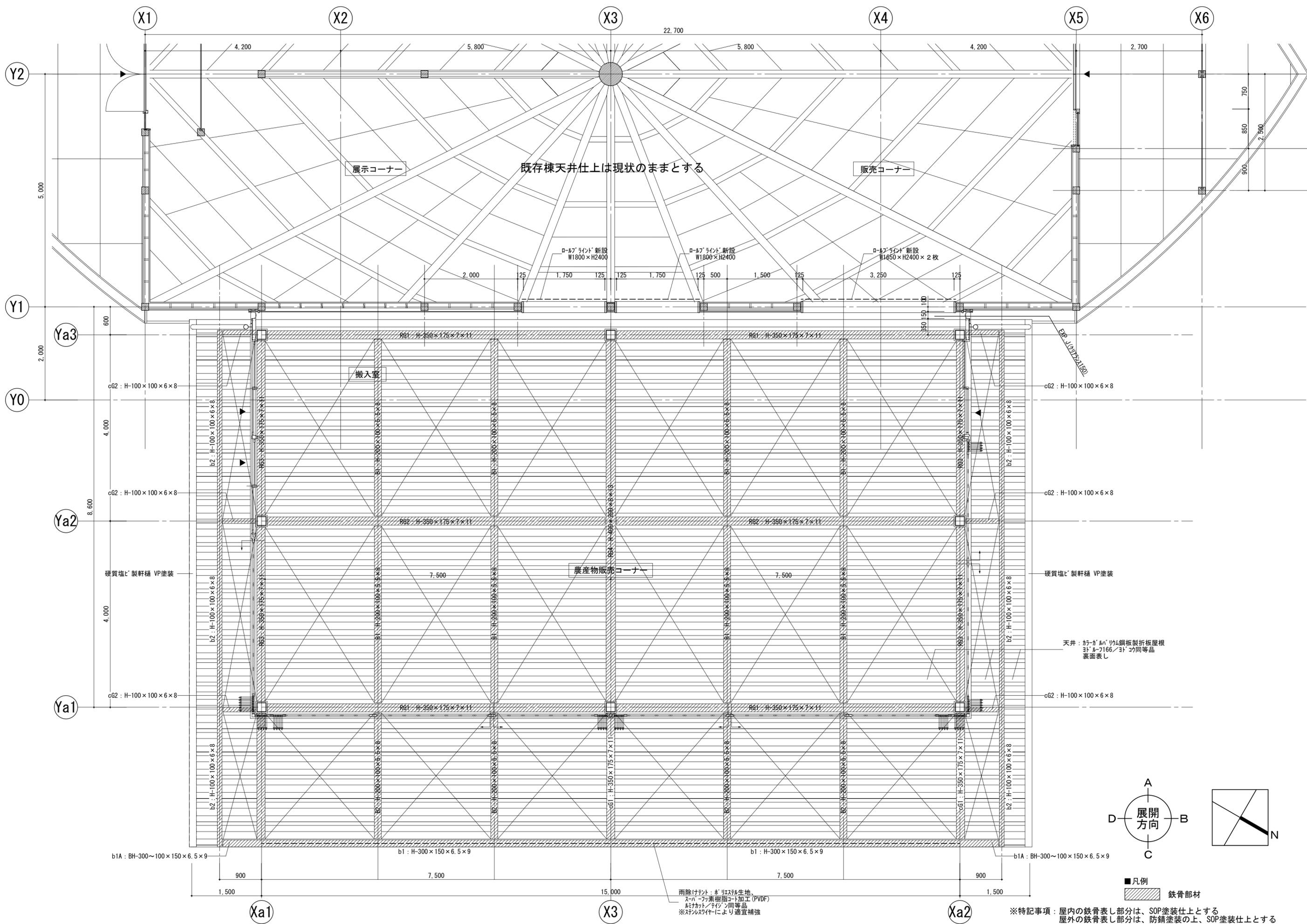
【増築】展開図D面



【増築】展開図C面

※特記事項：屋内の鉄骨表し部分は、SOP塗装仕上とする  
屋外の鉄骨表し部分は、防錆塗装の上、SOP塗装仕上とする

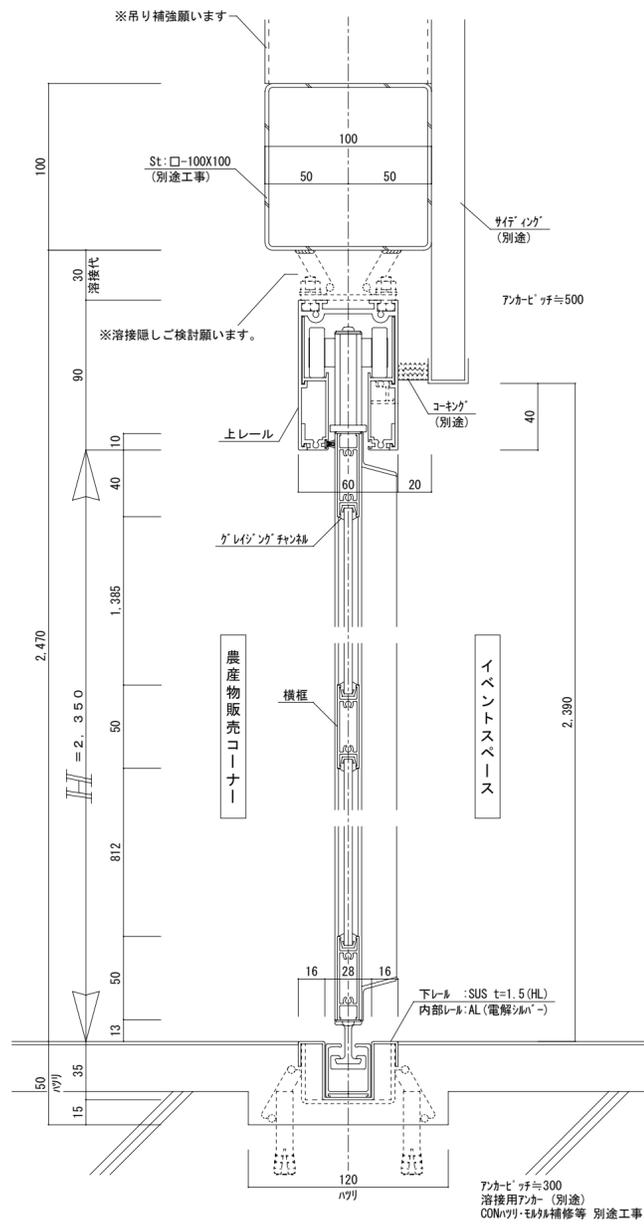
訂正	月日		工事名	【改修・増築】展開図	縮尺 1/50	図面No.	設計No.	園建築事務所	
			道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事		年月日	A-26		竹内 秀雄 一級建築士 第137409号	



訂正	月日		工事名 道の駅 瑞穂の里・さらびき増築工事	【改修・増築】天井伏図	縮尺 1/50	図面No. A-27	設計No.			園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
	年月日									

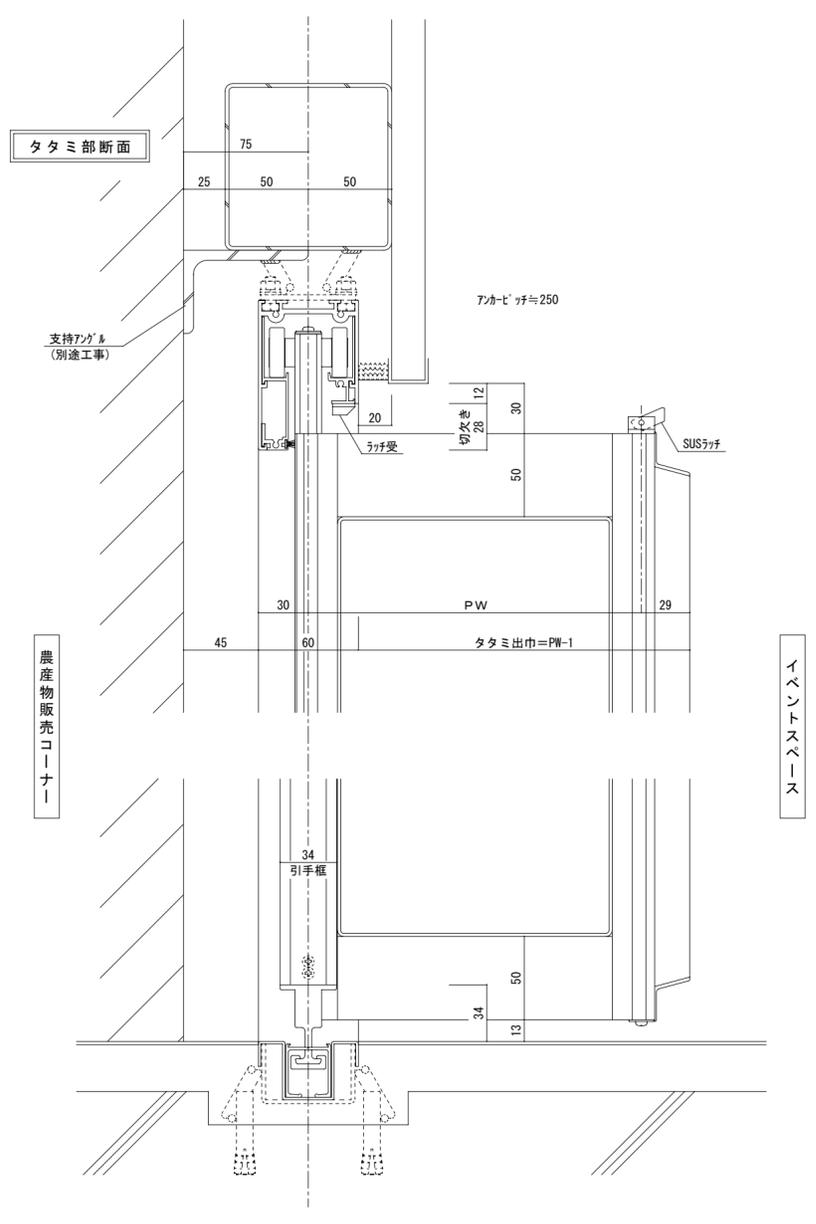
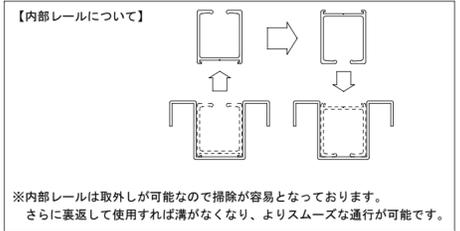
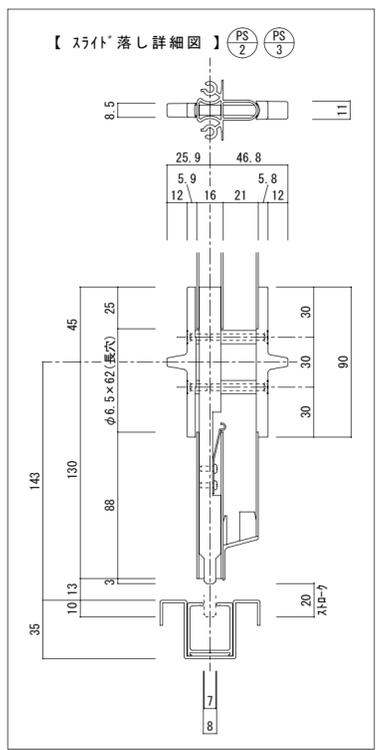




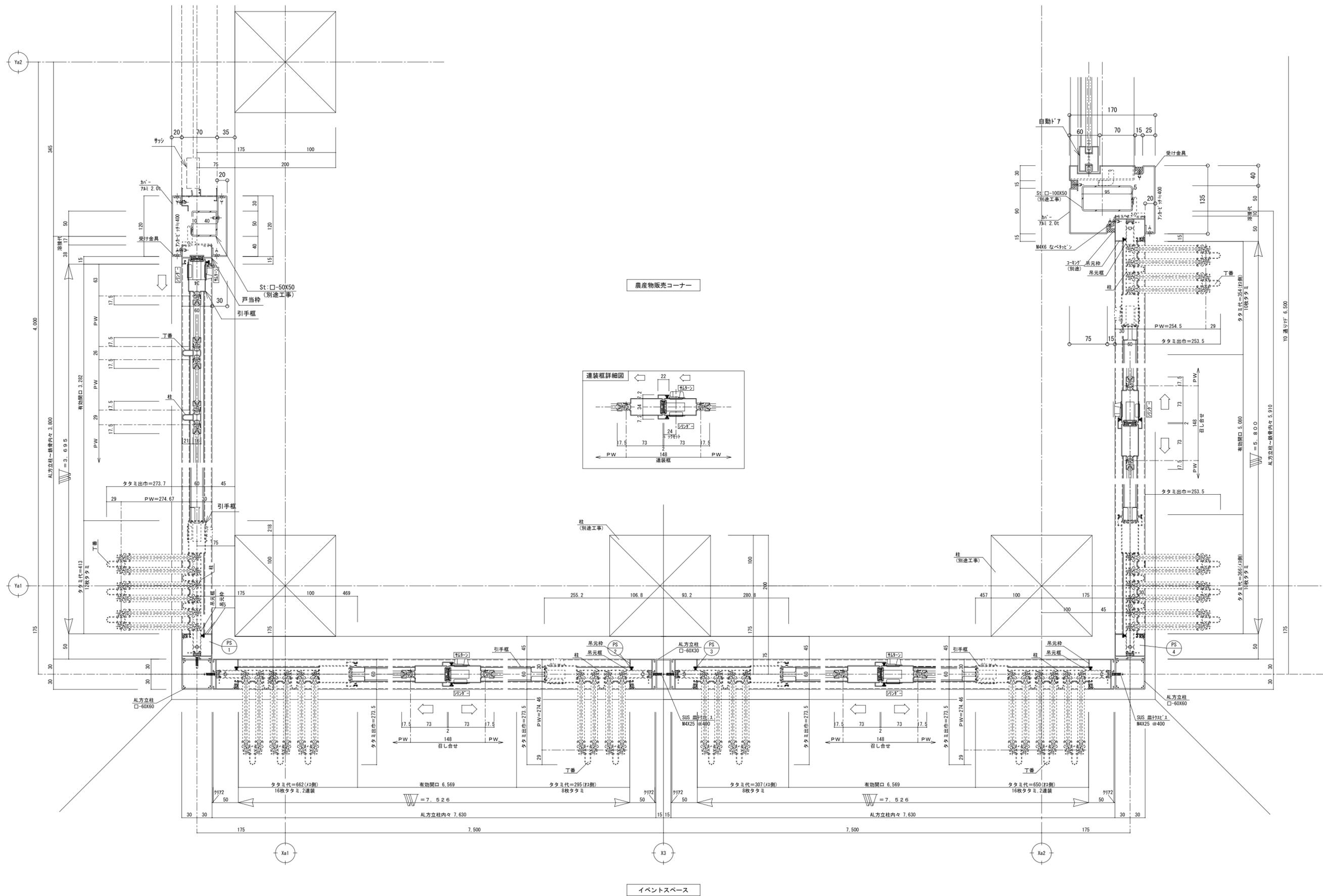


※製品総重量【PS-1】約100kg, 【PS-2、3】約200kg, 【PS-4】約155kg  
 上吊り製品の為、荷重に耐えられる下地及び吊り補強をお願いします。  
 製品にたわみが発生しますと動作に支障が出る恐れがあります。

計4体 同納まり



訂正	月日		工事名 道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事	建具詳細図 1	縮尺 1/3	図面No. A-30	設計No.				園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
					年月日						



訂正	月日		工事名	建具詳細図 1	縮尺	図面No.	設計No.	園建築事務所 竹内 秀雄 一級建築士 第137409号
			道の駅「瑞穂の里さらびき」改修工事		1/100	A-31		
					年月日			